

中野区役所

19時間前

町会レポートNo.33 宮三町会

「様々な世代をつなぐ、芋煮会」

お久しぶりです。町会ひよこです。今回は、コーヒーとビスケットが担当します。

10月19日(土曜日)、桃園区民活動センターで行われた、宮三町会の芋煮会に伺いました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、お子さんからご年配の方まで約30人が集まりました。

宮三町会の芋煮は、山形県出身の町会員さんのレシピのもと、山形産の里芋を使用し、本場山形の味を再現しているところをご自慢です。

この芋煮会は、15年以上前から毎年行われているそうです。今年の芋煮会では、芋煮とともになんと、町会員さんたちが自ら打ったうどんがふるまわれました。あわせて、子どもたち向けに、うどん打ちの体験も行われました。手順を教えてもらい、いざ体験。男の子は、「うどんを均等に切るのがすごく難しかったけど、自分で作ったうどんはとてもおいしかった」と笑顔で話していました。

宮三町会では、「災害時などいざという時に助け合えるように、地域で顔の見える関係を作りたい」という思いから、一年を通して様々な行事を企画し、地域で集まる機会を設けています。河野町会長によると、今回のうどん打ち体験は、「子どもが楽しめる行事なので、一緒にお父さん、お母さんも来てくれて、いろいろな世代と交流できる」というねらいがあるそうです。

大きな鍋で煮込まれたあたたかい芋煮を私たちも一緒にいただきました。味のしみたやわらかい里芋はとっても美味しく、老若男女だれもが喜ぶ味でした。様々な世代をつなぐきっかけを作り、地域の交流を深めることができるのは町会だからこそ。宮三町会の皆さんが地域を想う気持ちをひしと感じながら、お腹いっぱい帰路に着く町会ひよこでした。

以上、町会ひよこがお伝えしました。

中野区町会連合会のホームページも併せてご覧ください。

<http://nakano-chokai.jp>

